

教科	・児童の課題○重点目標	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読むことに対して抵抗のある児童がいる。 ・文章を読んで、その意味を理解する事が難しいことがある。 <p>○事物の説明や自分の経験などについて順序立てて話し、声の大きさや言葉遣いに気を付けて話すことを重点目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの活動や図書を通して、色々なジャンルの本に触れる機会をもつ。 ・音読カードを利用し、声に出す事で、文を正しく読む機会を増やす。 ・手掛かりになる言葉や文に線を引くなどして、意味理解が深まるようにする。 ・日常的に話をする場面を作り、友達の発言に感想や質問の場を設定する。 ・日常的に出来事、気持ちなどを書く場面を作り、書くことに慣れるように計画する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数や量の捉え方がまだ十分でないことから正しく計算できない児童がいる。 <p>○数の概念とその表し方や意味を理解し、数量や図形ついで感覚を豊かにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習などの短い時間を活用したり、毎日の家庭学習に計算を課したりして、繰り返し取り組む場を設定する。 ・ブロックの操作や折り紙など具体物で表す活動を通して、問題を正しく理解できるようにする。 ・クロームブックのドリル学習機能などを活用して、個別的課題を反復的に学習できるようにする。また、ロイロノートなどで自分や友達の考えを交流することで成長や課題を実感できるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人や社会、自然との関りをもっても、身近な生活に関わる見方・考え方に生かし、生活を豊かにしようとする態度までつながっていかない児童がいる。 <p>○活動や体験を通して自分と周囲との関わりに気づき、気付いたことを様々な方法で表現する力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な公園などを利用し、自然や動物とのふれあいや遊びなど、体験的な活動を多く取り入れながら、活動の意味を意識付けさせられるよう、声掛けや振り返りを大切ににする。 ・異学年や地域の人や保護者との交流活動を計画し、様々な立場の人と関わる中で、自分自身の生活やそこに映し出される自分自身について気付くことができるように言葉掛けをする。 ・絵や言葉、クロームブックなど、いろいろな表し方を提示し、自分で選べるように活動を工夫する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に歌っているが、自分の声を精一杯出して歌ってしまい、がなり声になってしまう。 <p>○美しい歌声に関心をもち、ていねいな歌い方を習得することを重点目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の歌声を聴く活動を増やし、よいところを褒め合い、自分の歌声に取り入れるように言葉掛けをする。 ・範唱を聴いてから歌うようにしたり、児童の近くで教員が歌ったりすることで、ていねいな歌い方に気付くようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に教材に関わり、楽しんで活動に取り組んでいる。一方で、苦手意識や不安があり、手が動かない児童がいる。 <p>○造形的な面白さや楽しさを感じ、積極的に活動に取り組むことを通して自分の見方や感じ方を広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことや表し方を言語化し、抽象的なイメージを具体的に捉えることができるよう指導を工夫する。 ・作品例や技法、材料の生かし方に触れる機会を増やし、表現の楽しさに触れさせる。 ・表現を試行錯誤する時間を設定し、苦手意識や不安を解消することで積極的に活動に取り組めるようにする。

<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 用具を使った運動や固定遊具を使った運動（マット・鉄棒・跳び箱）などにおいて、基本的な動きを身に付けることへ、抵抗のある児童がいる。 ○運動の楽しさを味わい、主体的に学習しようとする意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 課題を提示したり、言葉かけをしたりすることで、児童が、自分でめあてや達成目標などの目的意識をもって取り組めるようにする。 • 安全な道具を使い、準備ができるように指導する。 • 鬼遊びや多様な動きをつくる運動遊びなどにおいて、楽しく取り組めるルールややり方を話し合っ、全員で作る活動を行う。 • クロームブックのカメラ機能を活用して、自分や友達の動きを記録して、成長や課題を実感できるようにする。
-----------	---	---

※ なお、各教科において、端末は対話的な学びや記録の蓄積等に常時生かすようにする。